

# 国労

# 蘇我運輸区分会ニュース

# メーデー前夜祭

4月29日（金）18：30～千葉市民会館



この講演の趣旨は、現在も続いている悲惨なウクライナ情勢から日本国内のことも考えていくこと

**ウクライナの歴史**  
この講演の趣旨は、現在も続いている悲惨なウクライナ情勢から日本国内のことも考えていくこと

## ロシアとの関係

藤本泰成さんを講師に迎えて「フォーラム平和・人権・環境」の代表を務める藤本さんを迎え、個人的には数年ぶりにここでの講演を聞くことが出来ました。

## 講演 「日本の平和憲法の大切さ、そして改憲阻止の闘い」

藤本泰成さんを講師に迎えて「フォーラム平和・人権・環境」の代表を務める藤本さんを迎え、個人的には数年ぶりにここでの講演を聞くことが出来ました。

海外の紛争には、政治的なものもとより、民族、歴史、宗教等々色々なものが絡み合っていて、私たち日本人には細部までは中々理解出来ないこともあります。本講演では、最初こういう歴史的事実や、今回の経緯が説明されました。ロシアの侵攻

うというものです。

## そして改憲阻止の闘い

自分たちの政権を守るだけのために自国民をだまし、何の罪もない大勢の命を奪ったことに許しがたい怒りを感じることであります。

## 世界的には・・・？

この問題はウクライナとロシアだけの問題でなく、ロシアとアメリカという大国同士のにらみ合いが原点にあると思います。他にはやはり大国である中国やインド、アメリカの支配化に置かれて

自分たちの政権を守るだけのために自国民をだまし、何の罪もない大勢の命を奪ったことに許しがたい怒りを感じることであります。

るのは周知の通りであります。  
日本国憲法を今こそ世界に！

このウクライナ情勢を利用して、与党政治家はしきりに「隣国から攻められないために」しきりに軍備の強化を訴えており、その先には日本が世界に誇る憲法を改悪し、戦争への道を切り開こうと大変危険な状況が作られるつづあります。

この問題はウクライナとロシアだけの問題でなく、ロシアとアメリカという大国同士のにらみ合いが原点にあると思います。他にはやはり大国である中国やインド、アメリカの支配化に置かれて

風に吹かれて ボブディラン (1963年)  
Blowin' In The Wind

「人はどれだけの過ちを犯せば、その愚かさに気付くことが出来るのだろうか」と、全ての人に向けて訴えられた歌です。機会があったら是非聴いてみて下さい。  
・・・ここから60年近くかぁ・・・！！

## 正しい情報で行動しよう！

### メーデーのはじまり

1886年5月1日、アメリカ、シカゴの労働者が「8時間労働」を要求し決起したのがメーデーの起源とされる。我が国では、1920年上野公園での第1回が始まりで、スローガンは「仕事に8時間、休憩に8時間、やりたいことに8時間を！」であった。実際、日本で8時間労働が法律として規定されたのは、60年後の1947年、労働基準法施行によってである。同法第1条には「これを最低基準とし、これより労働条件を下げてはならない」と明記される。

憲法はそもそも国民が権力者たちを縛り付けるものであり、政治家が勝手にあれこれ言う権利さえないはず。先ず戦争も国民の殆ど全員が「戦争など始まらない」「戦争反

☆ 平和憲法を生かしきれない日本も大国同様、病める国なのかもね・・・。